

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

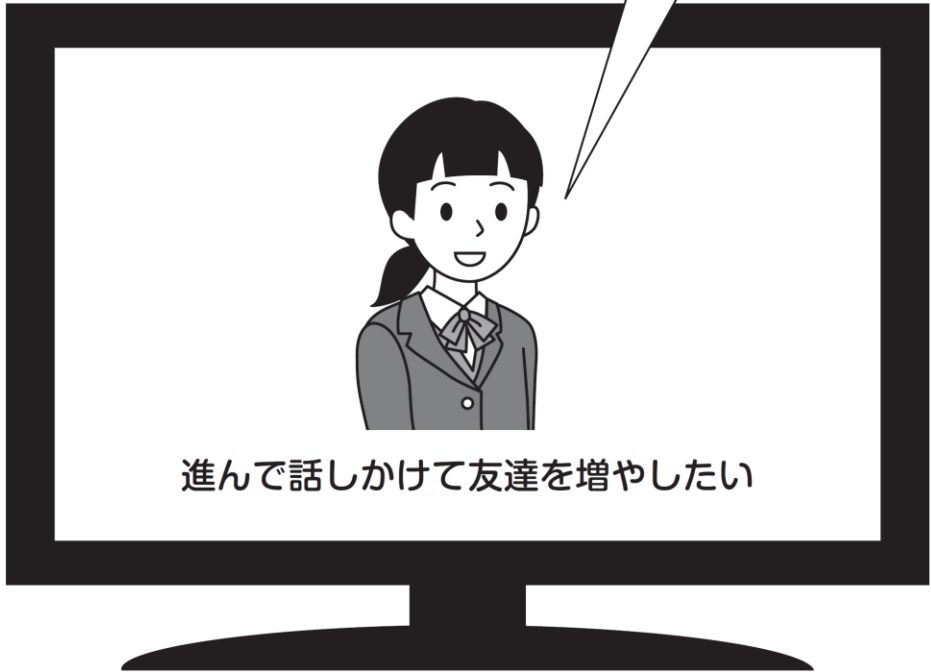
問題

次は、中学校の入学式の様子を伝えるニュースの【画面】と、そのときの【テレビから流れている音声】です。【画面】に示された字幕についての説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【テレビから流れている音声】

初めて同じ学級になる人もいると思うので楽しみです。
ええと、私から進んで話しかけて、たくさんの人と仲良くな
って、友達を増やしたいと思っています。

【画面】



- 1 【テレビから流れている音声】の言葉遣いの誤りを訂正している。
- 2 【テレビから流れている音声】の話の要点を示している。
- 3 【テレビから流れている音声】の難しい言葉の意味を解説している。
- 4 【テレビから流れている音声】の省略された内容を補っている。



中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

次は、中学校の入学式の様子を伝えるニュースの【画面】と、そのときの【テレビから流れている音声】です。【画面】に示された字幕についての説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【テレビから流れている音声】

初めて同じ学級になる人もいると思うので楽しみです。
ええと、私から進んで話しかけて、たくさんの人と仲良くな
って、友達を増やしたいと思っています。

【画面】



- 1 【テレビから流れている音声】の言葉遣いの誤りを訂正している。
- 2 【テレビから流れている音声】の話の要点を示している。
- 3 【テレビから流れている音声】の難しい言葉の意味を解説している。
- 4 【テレビから流れている音声】の省略された内容を補っている。

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

問題

山田さんは、「身近な道具の昔と今」というテーマでスピーチのリハーサルをしています。次は、リハーサルで実際に話した【スピーチ】と提示したイラスト【A】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の は、その箇所での提示するものを表します。）

【スピーチ】

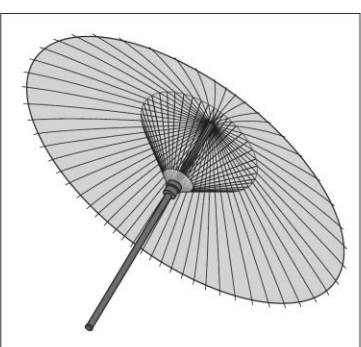
皆さんは、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、どのような違いがあるのか知っているでしょうか。

柄のついた傘は、千年以上前に日本に伝わってきたと言われていて、主に貴族や僧侶が日よけとして使っていました。後に雨傘としても使うようになり、江戸時代になると次第に使う人が増えていきました。これが江戸時代の雨傘です。 【A】 このような傘は、今でも使われることがあるので、見かけたことがあるかもしれません。

まず、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方が違います。江戸時代の雨傘は、竹の骨に和紙をはり、油を塗って水をはじくようにしています。（ア）古くなった場合には、和紙をはり替えて使っていたそうです。（イ）一方、今私たちがよく使っている雨傘は、金属の骨にポリエステルをはったものが多いです。（ウ）丈夫で乾きやすい素材が使われているのです。また、骨が傷んだ場合などには修理することもあります。次に、閉じたときの持ち方が違います。（エ）江戸時代の雨傘は、開いたときに握っている部分を下にして持ちます。今私たちがよく使っている雨傘のように持つと開いてしまうからです。

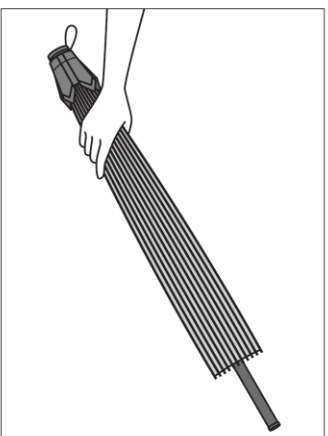
江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方や持ち方が違ってきます。しかし、修理して大切に使うことができる点は同じです。私は雨傘を大切に使うつもりだと思います。そして雨傘だけではなく、他の身近な道具も見つめ直して大切に使うていきたいです。

イラスト【A】



一 山田さんは、スピーチをより分かりやすくするために、イラスト【A】に加え、次のイラスト【B】を提示することにした。【スピーチ】の（ア）から（エ）までのどの箇所で提示すればよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

イラスト【B】



二 【スピーチ】の構成を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話題を示した上で調べた事実を述べ、終わりにその事実をもとにした自分の考えを述べている。
- 2 話題を示した上で自分の考えを述べ、次にその考えを支えるための根拠として調べた事実を述べている。
- 3 自分の考えを述べた上で話題を示し、調べた事実を観点ごとにまとめて終わりに述べている。
- 4 自分の考えを述べた上で話題を示し、次に自分の考えに結び付くように調べた事実を述べている。



中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

山田さんは、「身近な道具の昔と今」というテーマでスピーチのリハーサルをしています。次は、リハーサルで実際に話した【スピーチ】と提示したイラスト【A】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の□は、その箇所を提示するものを表します。）

【スピーチ】

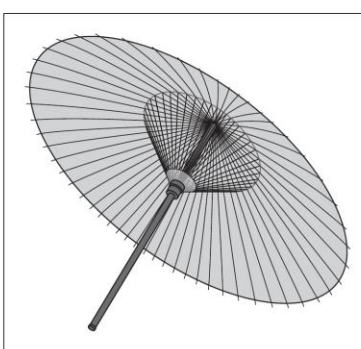
皆さんは、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、どのような違いがあるのか知っているでしょうか。

柄のついた傘は、千年以上前に日本に伝わってきたと言われていて、主に貴族や僧侶が日よけとして使っていました。後に雨傘としても使うようになり、江戸時代になると次第に使う人が増えていきました。これが江戸時代の雨傘です。【A】このような傘は、今でも使われることがあるので、見かけたことがあるかもしれません。

まず、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方が違います。江戸時代の雨傘は、竹の骨に和紙をはり、油を塗って水をはじくようにしています。（ア）古くなった場合には、和紙をはり替えて使っていたそうです。（イ）一方、今私たちがよく使っている雨傘は、金属の骨にポリエステルをはったものが多いです。（ウ）丈夫で乾きやすい素材が使われているのです。また、骨が傷んだ場合などには修理することもあります。次に、閉じたときの持ち方が違います。（エ）江戸時代の雨傘は、開いたときに握っている部分を下にして持ちます。今私たちがよく使っている雨傘のように持つと開いてしまうからです。

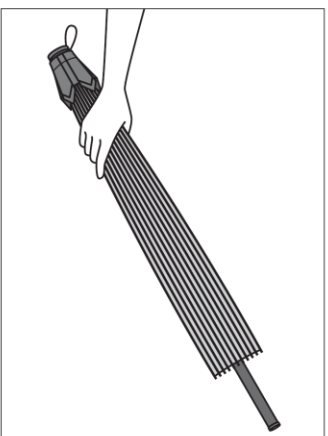
江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方や持ち方が違ってきます。しかし、修理して大切に使うことができる点は同じです。私は雨傘を大切に使うつもりだと思います。そして雨傘だけではなく、他の身近な道具も見つめ直して大切に使うていきたいです。

イラスト【A】



一 山田さんは、スピーチをより分かりやすくするために、イラスト【A】に加え、次のイラスト【B】を提示することになりました。【スピーチ】の（ア）から（エ）までのどの箇所を提示すればよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

イラスト【B】



(エ)

二 【スピーチ】の構成を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話題を示した上で調べた事実を述べ、終わりにその事実をもとにした自分の考えを述べている。
- 2 話題を示した上で自分の考えを述べ、次にその考えを支えるための根拠として調べた事実を述べている。
- 3 自分の考えを述べた上で話題を示し、調べた事実を観点ごとにまとめて終わりに述べている。
- 4 自分の考えを述べた上で話題を示し、次に自分の考えに結び付くように調べた事実を述べている。

1

中学校 国語科

年 組 番 氏名

問題

次は、高島さんが自分の体験をもとにして書いた【物語の下書き】と、それを読んだ友達からの【助言】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【物語の下書き】

明日に迫った合唱コンクールに向けて、健一たちは練習をがんばってきた。

そしていよいよ本番に向けての最後の練習。張りつめた空気の中、指揮者の動きとともに歌声とピアノの音が静かに止まる。

一瞬の静寂のあと、指揮をしていたカオルが満面の笑みで言った。

「今までで一番よかったよ。」

皆の顔にも笑みが浮かんだ。

「この調子なら明日もよい歌が歌えそうだ。」

と、健一は思わずつぶやいた。

【助言】

- ① 皆ががんばって練習している様子が伝わるように、会話を増やすとよい。
- ② この出来事が学校のどこで起きているのかが分かるように、場所を示すとよい。
- ③ 緊張した雰囲気がやわらいだことが分かるように、情景の描写を加えるとよい。
- ④ 練習の大変さが伝わるように、過去の練習の場面を入れるとよい。

一 高島さんは、【物語の下書き】を読み返し、――線部「練習をがんばってきた」を、それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直すことにしました。次の□に当てはまる言葉を、「がんばる」という単語を使わずに、十五字以内で書きなさい。

健一たちは□。

二 高島さんは、【助言】を参考にして、【物語の下書き】の<のところに次の一文を書き加えることにしました。高島さんが参考にした【助言】はどれですか。【助言】の①から④までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

窓から吹き込んでくるさわやかな風が、「あと一日」と書いたカレンダーを揺らす。

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏名

問題

次は、高島さんが自分の体験をもとにして書いた【物語の下書き】と、それを読んだ友達からの【助言】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【物語の下書き】

明日に迫った合唱コンクールに向けて、健一たちは練習をがんばってきた。

そしていよいよ本番に向けての最後の練習。張りつめた空気の中、指揮者の動きとともに歌声とピアノの音が静かに止まる。

一瞬の静寂のあと、指揮をしていたカオルが満面の笑みで言った。

「今までで一番よかったよ。」

皆の顔にも笑みが浮かんだ。

「この調子なら明日もよい歌が歌えそうだ。」

【助言】

- ① 皆ががんばって練習している様子が伝わるように、会話を増やすとよい。
- ② この出来事が学校のどこで起きているのかが分かるように、場所を示すとよい。
- ③ 緊張した雰囲気がやわらいだことが分かるように、情景の描写を加えるとよい。
- ④ 練習の大変さが伝わるように、過去の練習の場面を入れるとよい。

- (正答の条件)
次の条件を満たして解答している。
- ① 「がんばる」という単語を使わずに、それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように適切に書いている。
- ② 「健一たちは」に適切に続くように、十五字以内で書いている。

- (正答例)
- | | | | |
|---|---------|--------------------|-------|
| ・ | (健一たちは) | 今日まで練習を積み重ねてきた。(。) | (14字) |
| ・ | (健一たちは) | 毎日必死に練習をしてきた。(。) | (12字) |
| ・ | (健一たちは) | 懸命に歌ってきた。(。) | (8字) |

二 高島さんは、【助言】を参考にして、【物語の下書き】の < のところに次の一文を書き加えることにしました。高島さんが参考にした【助言】はどれですか。【助言】の①から④までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

窓から吹き込んでくるさわやかな風が、「あと一日」と書いたカレンダーを揺らす。

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏名

問題

次は、第一中学校の生徒会役員選挙を特集した生徒会だよりの【下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【下書き】

生徒会だより

第一中学校生徒会

《生徒会長候補》

2 年 1 組 池 田 一 郎

〈立候補者から〉

生徒が生き生きと活躍できる学校にします！

○ 意見箱の活用

生徒会の意見箱に入れられた提案などは、その内容を皆さんに伝え、全校生徒で考えます。

○ 生徒会だよりの活用

皆さんががんばっている様子を生徒会だよりで紹介し、第一中学校の生徒のよさを学校全体に広めます。

〈推薦者から〉

池田さんは、地道に努力する人です。所属するサッカー部では、いつも他の人より先にグラウンドに行って、一生懸命に基礎的な練習をしています。

また、周りの人たちのことを考えて行動する人です。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思います。

(2 年 1 組 林 花子)

一 〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 始めに具体的に取り組みたいことを二つ書き、最後に目標をまとめて書いている。

2 具体的に取り組みたいことを二つ書き、全体を通した目標は示さずに書いている。

3 始めに目標を示し、次に具体的に取り組みたいことについて並べて書いている。

4 始めと終わりに全体を通した目標を示し、具体的に取り組みたいことをその間に書いている。

3

二 推薦者の林さんは、〈推薦者から〉の□の部分に、――線部「周りの人たちのことを考えて行動する人」の具体例を書き加えることにしました。林さんが事前に集めた次の1から4までの情報のうち、具体例に使う情報として最も適切なものを一つ選びなさい。

1 幼い頃からサッカーが好きで、現在はサッカー部に所属している。

2 清掃のときは、自分の担当を終えると他の人の分も手伝っている。

3 趣味は読書で、休みの日は家でたくさんの本を読んでいる。

4 とても足が速く、いつもリレーの選手として推薦されている。

2

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 「自分」は、眠って夢を見ている。夢の中にいる「自分」は、運慶の評判を聞き、運慶の仕事ぶりを見に行く。

運慶は見物人の評判には委細頓着なく鑿と槌を動かしている。いっこう振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔の辺をしきりに彫り抜いて行く。

運慶は頭に小さい烏帽子のようなものを乗せて、素袍だか何だか別らない大きな袖を背中で括っている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどうして今時分まで運慶が生きているのかなと思つた。どうも不思議なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

しかし運慶のほうでは不思議とも奇体ともほとんど感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。仰向いてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とあるのみという態度だ。あつぱれだ」と言つて賞めだした。自分はこの言葉を面白いと思つた。それでちよつと若い男のほうを見ると、若い男は、すかさず、

「あの鑿と槌の使い方を見たまえ。自由自在の妙境に達している」と言つた。

運慶は今太い眉を一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿の歯を豎に返すや否や斜に、上から槌を打ち下ろした。堅い木を一刻みに削つて、厚い木屑が槌の声に应じて飛んだと思つたら、小鼻のおつ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がってきた。その刀

の入れ方いかにも無遠慮であつた。そうして少しも疑念を拂へておらんように見えた。

「よくあゝ無造作に鑿を使つて、思つような眉や鼻が出来るものだな」と自分はある感心したから独り言のように言つた。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉や鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違ふはずはない」と言つた。

自分はこの時はじめて彫刻とはそんなものかと思ひだした。はたしてそうなら誰にでも出来ることだと思ひだした。それで急に自分も仁王が彫つてみたくなつたから見物をやめてさつそく家へ帰つた。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、せんだつての暴風で倒れた檜を、薪にするつもりで、木挽に挽かせた手頃なやつが、たくさん積んであつた。

自分は一番大きいのを選んで、勢いよく彫りはじめてみたが、不幸にして、仁王は見当らなかつた。その次のにも運悪く掘り当ることが出来なかつた。三番目のにも仁王はいなかつた。自分は積んである薪を片っ端から彫つてみたが、どれもこれも仁王を蔵しているのはなかつた。

(夏目漱石「夢十夜」による。)

(注1) 委細頓着なく＝細かいことを気にしない。

(注2) 不思議とも奇体とも＝不思議であるとも奇妙であるとも。

(注3) 自由自在の妙境＝少しの束縛もなく、自由な境地。

(注4) 豎に返すや否や斜に＝縦に返すとすぐに斜めに。

(注5) 木挽に挽かせた＝製材することを仕事にしている人に切らせた。

参考



一 次は、この文章に登場する人物について整理したものです。 ア から ウ に当てはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを、あとの **1** から **4** までのの中から一つ選びなさい。

ア ……見物している	イ から、「天下の英雄」とたたえられている。
イ ……見物しながら、	ア の技術をほめたたえている。
ウ ……見物しながら、	イ の話を聞き、家に戻って木を彫りはじめる。

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 1 ア 運慶 | イ 若い男 | ウ 自分 |
| 2 ア 自分 | イ 運慶 | ウ 若い男 |
| 3 ア 運慶 | イ 自分 | ウ 若い男 |
| 4 ア 自分 | イ 若い男 | ウ 運慶 |

二 ―線部「どれもこれも仁王を蔵^{かく}しているのはなかった」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の **1** から **4** までのの中から一つ選びなさい。

- 1 木挽が隠した仁王を見付けられなかった。
- 2 木が堅くて鑿では仁王を掘り出せなかった。
- 3 薪が小さすぎて仁王が入っていなかった。
- 4 仁王を彫刻することはできなかった。

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 「自分」は、眠って夢を見ている。夢の中にいる「自分」は、運慶の評判を聞き、運慶の仕事ぶりを見に行く。

運慶は見物人の評判には委細頓着なく鑿と槌を動かしている。いっこう振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔の辺をしきりに彫り抜いて行く。

運慶は頭に小さい烏帽子のようなものを乗せて、素袍だか何だか別らない大きな袖を背中（注1）で括くくっている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどうして今時分まで運慶が生きているのかなと思つた。どうも不思議なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

しかし運慶のほうでは不思議とも奇体（注2）ともほとんど感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。仰向あおもむいてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とあるのみという態度だ。あつぱれだ」と言つて賞めほめた。自分はこの言葉を面白いと思つた。それでちよつと若い男のほうを見ると、若い男は、すかさず、

「あの鑿と槌の使い方を見たまえ。（注3）自在の妙境に達している」と言つた。

運慶は今太い眉まゆを一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿の歯（注4）を豎たてに返すや否や斜はすに、上から槌を打ち下ろした。堅い木を一刻みに削つて、厚い木屑きくずが槌の声に应じて飛んだと思つたら、小鼻のおつ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がってきた。その刀

参考



の入れ方かいかにも無遠慮であつた。そうして少しも疑念を拂はらへておらんように見えた。

「よくあゝ無造作に鑿を使つて、思ふような眉まみえや鼻が出来るものだな」と自分はある感心したから独り言のように言つた。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉まみえや鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違ふはずはない」と言つた。

自分はこの時はじめて彫刻とはそんなものかと思ひだした。はたしてそうなら誰にでも出来ることだと思ひだした。それで急に自分も仁王が彫つてみたくなつたから見物をやめてさつそく家うちへ帰つた。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、せんだつての暴風あらしで倒れた檜かしを、薪まきにするつもりで、木挽（注5）に挽ひかせた手頃なやつが、たくさん積んであつた。

自分は一番大きいのを選んで、勢いよく彫りはじめてみたが、不幸にして、仁王は見当みあたらなかつた。その次のにも運悪く掘り当あてることが出来なかつた。三番目のにも仁王はいなかつた。自分は積んである薪を片っ端から彫つてみたが、どれもこれも仁王を蔵かくしているのはなかつた。

（夏目漱石「夢十夜」による。）

（注1） 委細頓着なく＝細かいことを気にしない。

（注2） 不思議とも奇体とも＝不思議であるとも奇妙であるとも。

（注3） 自在の妙境＝少しの束縛もなく、自由な境地。

（注4） 豎に返すや否や斜に＝縦に返すとすぐに斜めに。

（注5） 木挽に挽かせた＝製材することを仕事にしている人に切らせた。

一 次は、この文章に登場する人物について整理したものです。

ア

から

ウ

に当てはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

ア

……見物している

イ

から、「天下の英雄」とたたえられている。

イ

……見物しながら、

ア

の技術をほめたたえている。

ウ

……見物しながら、

イ

の話を聞き、家に戻って木を彫りはじめる。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア | 運慶 | イ | 若い男 | ウ | 自分 |
| 2 | ア | 自分 | イ | 運慶 | ウ | 若い男 |
| 3 | ア | 運慶 | イ | 自分 | ウ | 若い男 |
| 4 | ア | 自分 | イ | 若い男 | ウ | 運慶 |

1

二 ―線部「どれもこれも仁王を蔵^{かく}しているのはなかった」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 木挽が隠した仁王を見付けられなかった。
- 2 木が堅くて鑿では仁王を掘り出せなかった。
- 3 薪が小さすぎて仁王が入っていなかった。
- 4 仁王を彫刻することはできなかった。

4

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

問題

森さんは、国語の授業で本を紹介するために学校図書館で先生に相談しています。次は、森さんと先生との会話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

森 国語の授業で、「青春」というテーマで本を紹介することになりました。自分でも探しているのですが、なかなかこれという本が見付かりません。何かよい本はありますか。

先生 森さんは、どのような本を取り上げたいと思っているのですか。

森 私は、何かに打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサッカーに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。^①もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしますか。

森 スポーツの本でも、スポーツではない本でもよいと考えています。

先生 それならば、野球に打ち込む中学生を主人公とした小説がありますよ。

森 いえ、そうではないのです。一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたいのです。

先生 そうだったんですね。^②では、実際にあった出来事を書いた本はどうですか。

森 それは思い付きませんでした。具体的にはどのようなものがありますか。

先生 音楽に打ち込む人を取り上げた本や、演劇に打ち込む人を取り上げた本などがあります。音楽や演劇の棚を見てもよいですよ。^③

森 分かりました。最初^③に音楽の棚を見えます。ありがとうございます。

一 森さんの――線部①の発言のすぐあとに、先生から――線部②の発言を引き出すためには、森さんは――線部①でどのように発言するとよいですか。次の□に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

もう一冊は□を取り上げたいと思っています。

二 ――線部③「最初に音楽の棚を見えます。」とありますが、森さんがこのような結論にたどり着いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 先生と相談しながら、目的に合った本の範囲を絞り込んでいったから。
- 2 先生と相談しながら、「青春」というテーマを別のものに変えていったから。
- 3 先生と相談しながら、自分が選んだ本の魅力を再発見していったから。
- 4 先生と相談しながら、多くの中学生が好む本の傾向を理解していったから。

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

森さんは、国語の授業で本を紹介するために学校図書館で先生に相談しています。次は、森さんと先生との会話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

森 国語の授業で、「青春」というテーマで本を紹介することになりました。自分でも探しているのですが、なかなか

これという本が見付かりません。何かよい本はありますか。

先生 森さんは、どのような本を取り上げたいと思っているのですか。

森 私は、何かに打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサッカーに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。^①もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしますか。

森 スポーツの本でも、スポーツではない本でもよいと考えています。

野球に打ち込む中学生を主人公とした小説がありますよ。

はないのです。一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたいのです。

ですね。^②では、実際にあった出来事を書いた本はどうですか。

きませんでした。具体的にはどのようなものがありますか。

「む人を取り上げた本や、演劇に打ち込む人を取り上げた本などがあります。音楽や演劇の棚を見て

よ。^③

最初に音楽の棚を見えます。ありがとうございました。

の発言のすぐあとに、先生から――線部②の発言を引き出すためには、森さんは――線部①でどのように発
次の に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

(正答例)

・ (もう一冊は) 小説以外の本 (を取り上げたいと思っています。)

(6字)

・ (もう一冊は) 小説ではないもの (を取り上げたいと思っています。)

(8字)

(正答の条件)
次の条件を満たして解答している。
① 小説ではない本であることを書いている。
② 「もう一冊は」と「を取り上げたいと思っています。」
に適切に続くように、十字以内で書いている。

二 ―線部③「最初に音楽の棚を見えます。」とありますが、森さんがこのような結論にたどり着いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 先生と相談しながら、目的に合った本の範囲を絞り込んでいったから。
- 2 先生と相談しながら、「青春」というテーマを別のものに変えていったから。
- 3 先生と相談しながら、自分が選んだ本の魅力を再発見していったから。
- 4 先生と相談しながら、多くの中学生が好む本の傾向を理解していったから。

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

問題

次は、【詩】とその詩についての【感想の交流の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【詩】

祖母
三好達治
みよしたつじ
祖母は蛍をかきあつめて
桃の実のように合せた掌^{あわて}の中から
沢山な蛍をくれるのだ
祖母は月光をかきあつめて
桃の実のように合せた掌の中から
沢山な月光をくれるのだ

【感想の交流の一部】

木村 この詩に出てくる祖母は、優しい感じがするね。
石川 そうだね。「沢山な」、「くれるのだ」という表現から、
孫を思う優しさが伝わってくるね。木村さんは、どの表現
から優しいと感じたのかな。
木村 「桃の実のように合せた掌」という比喻を用いた表現か
ら、大事に包み込むようにしてそとと孫に渡す様子が伝
わってきて、優しいと感じたよ。

一 【詩】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 第一連と第二連とでは敬語の使い方が全く同じなので、人物の相互関係が捉えやすい。
- 2 第一連と第二連とでは文末の表現の仕方が異なるので、時間が経過していることが明確になる。
- 3 第一連と第二連とでは使っている言葉がほぼ同じなので、異なっている言葉の印象が強く伝わる。
- 4 第一連と第二連とでは行数が異なるので、音読したときのリズムの違いがきわ立つ。

二 木村さんと石川さんの交流の様子について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二人は同じ表現に着目し、祖母の人物像についても同じ見方をしている。
- 2 二人は異なる表現に着目し、祖母の人物像についても異なる見方をしている。
- 3 二人は同じ表現に着目しているが、祖母の人物像については異なる見方をしている。
- 4 二人は異なる表現に着目しているが、祖母の人物像については同じ見方をしている。

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

次は、【詩】とその詩についての【感想の交流の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【詩】

祖母
三好達治 みよし たつじ

祖母は蛍をかきあつめて
桃の実のように合^あわせた掌^ての中から
沢山な蛍をくれるのだ

祖母は月光をかきあつめて
桃の実のように合^あわせた掌^ての中から
沢山な月光をくれるのだ

【感想の交流の一部】

木村 この詩に出てくる祖母は、優しい感じがするね。
石川 そうだね。「沢山な」、「くれるのだ」という表現から、
孫を思う優しさが伝わってくるね。木村さんは、どの表現
から優しいと感じたのかな。

木村 「桃の実のように合^あわせた掌」という比喻を用いた表現か
ら、大事に包み込むようにしてそつと孫に渡す様子が伝
わってきて、優しいと感じたよ。

一 【詩】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 第一連と第二連とでは敬語の使い方が全く同じなので、人物の相互関係が捉えやすい。
- 2 第一連と第二連とでは文末の表現の仕方が異なるので、時間が経過していることが明確になる。
- 3 第一連と第二連とでは使っている言葉がほぼ同じなので、異なっている言葉の印象が強く伝わる。
- 4 第一連と第二連とでは行数が異なるので、音読したときのリズムの違いがきわ立つ。

3

二 木村さんと石川さんの交流の様子について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二人は同じ表現に着目し、祖母の人物像についても同じ見方をしている。
- 2 二人は異なる表現に着目し、祖母の人物像についても異なる見方をしている。
- 3 二人は同じ表現に着目しているが、祖母の人物像については異なる見方をしている。
- 4 二人は異なる表現に着目しているが、祖母の人物像については同じ見方をしている。

4

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

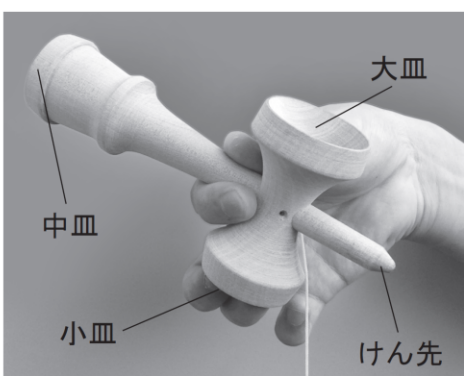
問題

石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の は、その箇所で〈実演〉を行うことを表します。〈実演〉は三回とも同じ動作を行います。）

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持つてきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持つて行います。まずはどのような技なのか見てください。〔**実演**〕一回目〕

「大皿」のコツは二つあります。

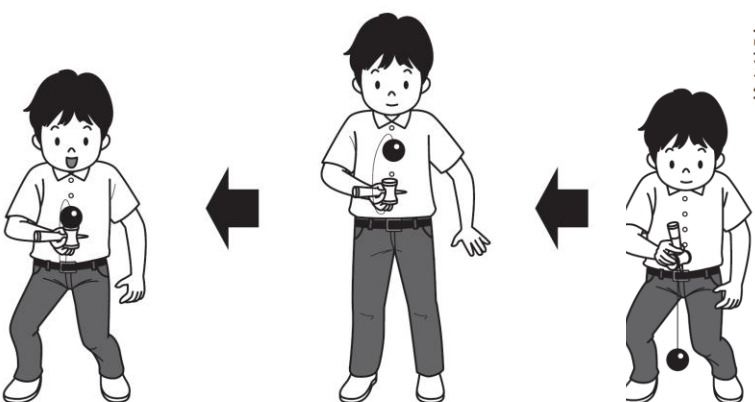
一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。〔**実演**〕二回目〕少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

〔**実演**〕三回目〕始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときはひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

〔実演〕



【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにすると思います。

【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。

石井さんが〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

1561

【意見1】はどのようなことを伝えようとしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 実演を見るときのポイントを直前に示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るときポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るときポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るときポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

1001

三 石井さんは、【意見2】を受けて、【スピーチ】の――線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【本の一部】を参考にして、【意見2】にある「どのようにひぎを動かすのか」と「なぜひぎを動かすとよいのか」が分かるように書くこと。

条件2 「玉を受け止めるときは、」に続けて、四十字以上、八十字以内で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます）。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

[illegible]

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

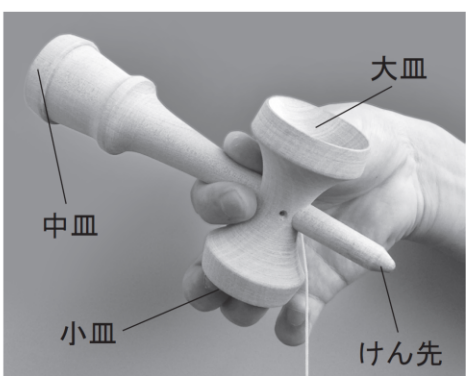
問題

石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の は、その箇所での「実演」を行うことを表します。「実演」は三回とも同じ動作を行います。）

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持つてきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持っています。まずはどのような技なのか見てください。【「実演」一回目】

「大皿」のコツは二つあります。

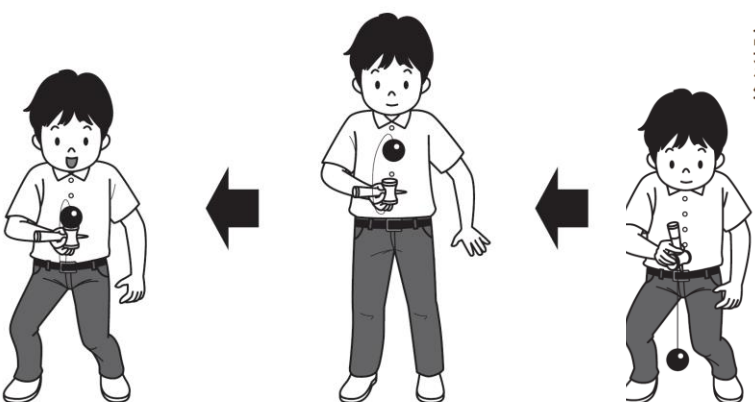
一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。【「実演」二回目】 少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

【「実演」三回目】 始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときはひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

【「実演」】



【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのか分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにすると思います。

【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。

一 石井さんが〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

2

二 【意見1】はどのようなことを伝えようとしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 実演を見るときのポイントを示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るときのポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るときのポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るときのポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

1

三 石井さんは、【意見2】を受けて、【スピーチ】の――線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

て、【意見2】にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かすとよいのか」が分
「」に続けて、四十文字以上、八十文字以内で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を

（正答例）

・（玉を受け止めるときは、）今私がやったように、玉の動きに合
せてひざを曲げるとよいです。なぜなら、皿と玉がぶつかるときの衝
撃をやわらげる効果があるからです。（77字）

・（玉を受け止めるときは、）皿との衝撃をやわらげるために、ひざ
を曲げながら行うとよい。（41字）

（正答の条件）

次の条件を満たして解答している。

- ① 【本の一部】を参考にして、「どのようにひざを動かすのか」
が分かるように書いている。
- ② 【本の一部】を参考にして、「なぜひざを動かすとよいのか」
が分かるように書いている。
- ③ 「玉を受け止めるときは、」に続けて、四十文字以上、八十
文字以内で書いている。

中学校 国語科

年 組 番 氏 名

問題

松本さんの学級では、国語の時間に、様々な文学作品に興味をもつことを目的として、一人一ページを使ってそれぞれのおすすめの文学作品を紹介し合う冊子を作成しています。松本さんは、太宰治の「走れメロス」を取り上げています。次は、松本さんが読んだ資料の一部である【資料1】、【資料2】と、松本さんが書いている【下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

西暦	ことば
一九〇九	青森県に生まれる。
一九二七	弘前高等学校に入学。尊敬していた芥川龍之介の死に衝撃を受ける。
一九三〇	東京帝国大学入学。井伏鱒二に会い、以後師事する。
一九三三	「思ひ出」発表。
一九三五	「逆行」発表。
一九三九	「富嶽百景」発表。
一九四〇	「走れメロス」発表。
一九四四	『津軽』刊行。
一九四五	『お伽草紙』刊行。
一九四七	「斜陽」発表。
一九四八	「人間失格」発表。亡くなる。

【資料2】

「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」

太宰治は、友人である作家の檀一雄と熱海の旅館に滞在していた。二人ともお金を使い果たしてしまったので、太宰はお金を用意するため、檀を残して一人で東京へ戻っていった。ところが、いくらたっても太宰は熱海に帰ってこない。檀が東京まで探しに行くと、太宰は師である井伏鱒二の家で将棋を指していた。このとき、激怒する檀に向かって太宰が言ったのが、「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」という言葉である。

檀は、この出来事が「走れメロス」の執筆に関係しているのではと述べている。

【下書き】

私が選んだ「走れメロス」の中の表現

- ・メロスは激怒した。
- ・途中で倒れるのは、はじめから何もしないのと同じ事だ。
- ・「私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ。」
- ・「信実とは、決して空虚な妄想ではなかった。どうか、わしをも仲間に入れてくれまいか。」
- ・勇者は、ひどく赤面した。

(太宰治「走れメロス」〇〇社、△△△△年)

「走れメロス」の作者 太宰治

太宰治の写真

太宰治は青森県に生まれた。「思ひ出」や「逆行」、「富嶽百景」などの作品を書き、一九四〇年には「走れメロス」を発表した。その後は、「斜陽」、「人間失格」などの作品を書いた。

また、芥川龍之介、井伏鱒二、檀一雄と関係がある。「走れメロス」と、太宰の他の作品や関係がある作家の作品とを読み比べてみて面白いかもしれない。

「走れメロス」を読んで、印象に残る表現を探してみよう。

「走れメロス」を他の人たちはこのように読んだ

(小栗孝則訳「人質 譚詩」による。)

◇◇◇◇訳「人質 譚詩」□□社、××××年)

一 【下書き】についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 作品に興味をもってもらうために、作品の中の表現や内容には一切触れずに書いている。
- 2 作品に興味をもってもらうために、作者についての情報に絞って紹介している。
- 3 作品に興味をもってもらうために、場面の展開や全ての登場人物について詳しく説明している。
- 4 作品に興味をもってもらうために、作品に関する情報を様々な角度から示している。

二 松本さんは、【下書き】にある『走れメロス』の作者 太宰治」ので囲まれた部分を、【資料1】と【資料2】を参考にして書き直すことにしました。書き直したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 井伏鱒二を師としていた。友人に芥川龍之介、檀一雄がいる。
- 2 檀一雄を師としていた。友人に井伏鱒二、芥川龍之介がいる。
- 3 芥川龍之介を尊敬していた。師は井伏鱒二。友人に檀一雄がいる。
- 4 檀一雄を尊敬していた。師は芥川龍之介。友人に井伏鱒二がいる。

三 松本さんは、『走れメロス』を他の人たちはこのように読んだ」の部分を書くためのアンケートを作成しています。あなたなら、作品に興味をもってもらえる内容を書くためにどのようなアンケートをとりますか。また、そのように考えたのはなぜですか。次のア、イ、ウについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア どのような人たちを対象としてアンケートをとるのかを書きなさい。

イ アのうち、『走れメロス』を読んだことがある」と答えた人に、どのような質問をするのかを書きなさい。

ウ イの質問についての回答をもとにした内容載せることで作品に興味をもってもらえると考えた理由を書きなさい。

ア 対象

イ 質問

ウ 理由

中学校 国語科 「正答例」

年 組 番 氏 名

問題

松本さんの学級では、国語の時間に、様々な文学作品に興味をもつことを目的として、一人一ページを使ってそれぞれのおすすめの文学作品を紹介し合う冊子を作成しています。松本さんは、太宰治の「走れメロス」を取り上げています。次は、松本さんが読んだ資料の一部である【資料1】、【資料2】と、松本さんが書いている【下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

西暦	ことば
一九〇九	青森県に生まれる。
一九二七	弘前高等学校に入学。尊敬していた芥川龍之介の死に衝撃を受ける。
一九三〇	東京帝国大学入学。井伏鱒二に会い、以後師事する。
一九三三	「思ひ出」発表。
一九三五	「逆行」発表。
一九三九	「富嶽百景」発表。
一九四〇	「走れメロス」発表。
一九四四	『津軽』刊行。
一九四五	『お伽草紙』刊行。
一九四七	「斜陽」発表。
一九四八	「人間失格」発表。亡くなる。

【資料2】

「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」

太宰治は、友人である作家の檀一雄と熱海の旅館に滞在していた。二人ともお金を使い果たしてしまったので、太宰はお金を用意するため、檀を残して一人で東京へ戻っていった。ところが、いくらたっても太宰は熱海に帰ってこない。檀が東京まで探しに行くと、太宰は師である井伏鱒二の家で将棋を指していた。このとき、激怒する檀に向かって太宰が言ったのが、「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」という言葉である。

檀は、この出来事が「走れメロス」の執筆に関係しているのではと述べている。

【下書き】

私が選んだ「走れメロス」の中の表現

- ・メロスは激怒した。
- ・途中で倒れるのは、はじめから何もしないのと同じ事だ。
- ・「私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ。」
- ・「信実とは、決して空虚な妄想ではなかった。どうか、わしをも仲間に入れてくれまいか。」
- ・勇者は、ひどく赤面した。

(太宰治「走れメロス」〇〇社、△△△△年)

「走れメロス」の作者 太宰治

太宰治の写真

太宰治は青森県に生まれた。「思ひ出」や「逆行」、「富嶽百景」などの作品を書き、一九四〇年には「走れメロス」を発表した。その後は、「斜陽」、「人間失格」などの作品を書いた。

また、芥川龍之介、井伏鱒二、檀一雄と関係がある。「走れメロス」と、太宰の他の作品や関係がある作家の作品とを読み比べてみて面白いかもしれない。

「走れメロス」を読んで、印象に残る表現を探してみよう。

「走れメロス」を他の人たちはこのように読んだ

(小栗孝則訳「人質 譚詩」による。)

◇◇◇◇訳「人質 譚詩」□□社、××××年)

一 【下書き】 についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 作品に興味をもってもらうために、作品の中の表現や内容には一切触れずに書いている。
- 2 作品に興味をもってもらうために、作者についての情報に絞って紹介している。
- 3 作品に興味をもってもらうために、場面の展開や全ての登場人物について詳しく説明している。
- 4 作品に興味をもってもらうために、作品に関する情報を様々な角度から示している。

4

二 松本さんは、【下書き】にある『走れメロス』の作者 太宰治の で囲まれた部分を、【資料1】と【資料2】を参考にして書き直すことにしました。書き直したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 井伏鱒二を師としていた。友人に芥川龍之介、檀一雄がいる。
- 2 檀一雄を師としていた。友人に井伏鱒二、芥川龍之介がいる。
- 3 芥川龍之介を尊敬していた。師は井伏鱒二。友人に檀一雄がいる。
- 4 檀一雄を尊敬していた。師は芥川龍之介。友人に井伏鱒二がいる。

3

三 松本さんは、『走れメロス』を他の人たちはこのように読んだ」の部分を書くためのアンケートを作成しています。あなたなら、作品に興味をもってもらえる内容を書くためにどのようなアンケートをとりますか。また、そのように考えたのはなぜです

それぞれの指示にしたがって書きなさい。

したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

としてアンケートをとるのかを書きなさい。

を読んだことがある」と答えた人に、どのような質問をするのかを書きなさい。

をもとにした内容載せることで作品に興味をもってもらえると考えた理由を書きなさい。

(正答例)

ア 様々な年齢層の大人
イ 「走れメロス」の中で印象に残っている場面を一つ挙げてください。
ウ 印象に残る場面が年齢層によって様々であることを示せば、それだけ多くの魅力的な要素が入っている作品であることを伝えることができるからです。

ア 学校の先生たち
イ 共感できる登場人物は誰ですか。
ウ 学校の先生たちがどの登場人物に共感しているのかが分かれば、その理由を考えながら読む楽しみが増えるからです。

ア 学級の友達
イ メロスのことは好きか。
ウ メロスについて、友達と自分との感じ方の違いを確かめてみようとする人がいると思うから。

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① アに、アンケートをとる対象を書いている。
- ② イに、アのうち、『走れメロス』を読んだことがある」と答えた人に対する質問内容を適切に書いている。
- ③ ウに、イの質問についての回答を基にした内容載せること作品に興味をもってもらえると考えた理由を書いている。